



やまがた

平成31年4月

No.128

議会だより

希望の春

ご入学おめでとうバザール

山形小学校

入学式



鉢盛中学校
入学式

エポック館・清水高原

第1回 議会定例会

住民に寄り添う予算へ 2ページ

2019年度の予算決まる

子育て支援一段と充実 3ページ

地域おこし協力隊はりきる!!

3ページ

一般質問要旨

4ページ~7ページ

新年度が始まった・・・物申す

7ページ

キャッチボール

8ページ

住民に寄り添う予算へ

一段と行政の監視・チェック機能を発揮して参ります

防犯外灯のLED化着実に進める・防犯カメラの設置

平成31年度中に完了

平成30年度20カ所へ

平成31年

第1回議会定例会

第1回定例会を2月27日に開
会し、3月12日まで14日間開催
した。

議案17件を審議のうえ可決し、
請願・陳情2件は継続審議とし
た。

一般質問は7日に9名が登壇
し、村政全般について質問を行
なった。

議案

- 山形村道路線の認定について
- 山形村公共施設整備基金条例の二部を改正する条例について
- 山形村霊園条例の一部を改正する条例について
- 山形村学校給食管理条例の制定について
- 平成30年度山形村一般会計補正予算

報告

- 工事の受注状況について
公園内立木高所部の枝打ち
101万5千円
- 上大池淀の内公園
- 中大池で愛のプラザ
第一公民館
- 村道舗装改修
下大池1級5号線
513万円

同意

- 教育委員会教育長の任命
根橋 範男氏（下竹田）



役場庁舎南交差点の防犯カメラ

主な事業等補正予算

総務費

- 防犯カメラ設置工事
861万8千円

民生費

- 自立支援事業扶助費
千99万2千円
- 心身障害者医療扶助費150万円
- 保健福祉センター費
134万9千円
- 修繕費
199万7千円
- 備品購入費

教育費

- 小学校桜伐採枝打ち委託料
118万8千円
- 鉢盛中学校維持経営費
152万5千円
- 図書館費
書籍落下対策費 5万5千円
書架購入費 21万6千円
図書館玄関椅子 2万2千円
○農業者トレーニングセンター費
玄関ロータリー陥没改修工事
47万円
- 電気設備改修工事
106万4千円



山形村図書館…皆さんをお待ちしています

平成31年度予算

子育て支援「段と充実」

- 子供の居場所づくり
『児童館事業』
平日や長期休みに開く
運動教室と食事会
- 産後の病氣予防と健康診
査などに取り組む



保育園全室エアコン設置へ

- 保育料の無償化への対応
- 無停電化の工事（役場庁舎内のコンピューターのサーバー）
- 公共施設等あり方検討委員会の設置
- 清水高原、清水寺の周辺に景観確保ビューポイント整備事業

歳出

民生費	
10億7,166万円	30.2%
土木費	
3億5,348万円	10.0%
衛生費	
3億4,837万円	9.8%
消防費	
1億3,224万円	3.7%
教育費	
3億2,919万円	9.3%
農林水産業費	
3億1,044万円	8.8%
商工費	
3,583万円	1.0%
公債費	
3億1,644万円	8.9%
総務費	
5億6,374万円	15.9%
その他	
8,261万円	2.4%

歳入

村税	
9億9,001万円	27.9%
地方交付金	
12億792万円	34.1%
国・県支出金	
5億6,860万円	16.0%
村債	
1億9,770万円	5.6%
その他	
5億7,977万円	16.4%

平成31年度一般会計予算
35億4,400円に

国民健康保険	10億2,785万円
特別会計	
後期高齢者医療	7,503万円
特別会計	
介護保険	7億4,705万円
特別会計	
清水高原簡易水道	1,435万円
特別会計	
上水道事業会計	給水戸数 3,250戸
水道料金	2億312万円
下水道事業会計	水洗化人口 8,720人
下水道使用料	1億7,545万円

総務産業常任委員と豆腐作り…その後、全議員と交流会
あなざわ まさみ 穴澤 雅美さん 1月18日(金) 農産物加工室



はりきる!!地域おこし協力隊

清水高原で雪遊び

「冬こそ外で雪あそび inやまがた村」
2019年2月9日(土)
地域おこし協力隊の

紹介

- 坂野 岳人さん
- 見澤 愛さん
- 穴澤 雅美さん

一般質問

議員9人が

村政を問う

3月定例会の一般質問は、7日に9名が19件を行ないました。

質問議員が要約したものを掲載いたします。

一般質問とは

一般質問は、村が行なうすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

●質問時間は60分 山形村では、議員が質問できる時間は答弁を含めて1人60分以内です。

●一問一答方式 質問は、一つ質問して一つの回答を得る一問一答方式です。より問題を深められる方法とされています。

●事前通告 質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。



『ふるさと伝承館』の 対策を

春日 仁議員

教育長

次年度からは『ふるさと伝承館』を

閉館にしていく

Q 伝承館周りの通行規制は小学校より通知があったが、入館者の規制はどうするのか。

A 学術研究による建物への立ち入り、調査など必要な場合を除き、次年度からは閉館にしていきたいと考えている。

Q 県宝5点を含む展示物の保護はどのようにするか。

A 伝承館内の展示物などを他の安全な場所へいったん移動し、保管の必要がある。

Q 今後、伝承館の建て替え計画はあるか。

A 地域の文化財を保存し、活用することは大切だと考えている。新年度に予定している「公共施設等のあり方検討委員会」を設置し、この検討結果を踏まえ、検証を重ね、伝承館としての施設整備の望ましい方向性を示していきたい。



ふるさと伝承館…閉館

その他、「子育て支援の充実を」について質問した。



幼児教育 保育の無償化は

竹野入恒夫議員

村長 10月から国より一定の補助がある

Q 10月から幼児教育・保育無償化の山形保育園・やまのこ保育園対象者は何人か。

A 山形保育園の無償化に該当する3歳から5歳、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の保育園児は178名で、やまのこ保育園は43名となる。

Q 幼児教育・保育の無償化に対する予算はどの位になるか。

A 無償化による保育料の軽減分（自治体負担分）は、概算で平成31年度山形保育園が千943万7千円、やまのこ保育園は375万7千円となる。平成32年度以降は、31年度ベースで山形保育園が3千887万4千円、やまのこ保育園は751万4千円となる。また、無償化の実施にあたっては必要な事務経費やシステム改修費についても国からの一定補助がある。

その他、「スカイランドきよみずの指定管理、職員教育と働き方改革」について質問した。



やまのこ保育園卒園式



次年度2019年
「道祖神と新そば祭り」
への取り組みは

小林幸司議員

村長 山形村をアピールできるように

30回目の新そば祭りを盛り上げたい
今までの開催方法では、運営スタッフ
の負担が大き過ぎるのではないか。

企画・運営は実行委員会、商工会・観
光協会の会員、一般村民の協力で開催し
ている。

そば打ちなど、事前準備の人員不足も
心配となるが対応はどうするか。



全ての世帯で構築する
『防災組織』に

大月民夫議員

村長 「自主防災組織」再編協議を検討する

近年の地域コミュニティ分断による溝
が深まる中、命を守る「共助機能」が十
分發揮できるのか不安感が強まっている。

連絡班加入、未加
入を度外視し、隣近
所すべての世帯で防
災会を再編すべきだ
と思われるが、どの
ように考えるか。



下竹田自主防災会倉庫

そば打ちの協力者を村内外から募集し
対応していきたい。
山形村を今後どのようにアピールして
いくか。

昨年立ち上げた「やまっち村観光研究
会」を中心にして、観光地域づくりに向
けた研究に取り組んでい
く。「むら・まち歩きを
しながら、五感で味わ
う」ことのできる「観光地
地づくり」から「観光地
域づくり」にシフトして
いきたいと考えている。



2018道祖神と新そば祭り

新年度は地域防災計画の見直しを行な
う。防災会議の中で自主防災組織の再編
についても協議を進めてみたい。

自主防災組織の再編にあたっては、基
調となる、「要綱」の制定はどうか、
共有する「要綱」の制定はどうか。

自主防災組織の再編は地域に周知し、
理解していただくことが必要である。村
民と行政が協議し進めるべきと思われる。

再編成ができた班の世帯には、組織名
入り『LED懐中電灯』などを進呈し、
防災・共生社会意識を図つたらどうか。

自主防災組織の再編に伴い、防災グッ
ズ進呈は一体感が高まると思うが、まず
は再編課題を地域で話し合うことが必要。



消防団の
団員確保状況は

上條倫司議員

村長 次年度は条例定数近くに確保できる状
況だが、将来は女性団員も考えていき
たい

消防団員の確保と現在の団員数はどう
なっているか。

消防団員の条例定数は183名、現在の団
員数は171名と12名少ない状況にある。

消防団活動の理解を得るのに難しい状況下
にあるが、各分団において熱心な勧誘活動が
行なわれ、次年度は定数近くに達成しそうで
ある。松本市では婚活などの取り組みもある
が、活動の見直し、いろいろなイメージアッ
プの上、将来は女性団員の登用も考えていき
たい。

県営土地改良事業

大池原・東原地区排水対策事業の進捗状況は
完成年度はいつか、農繁期の工事はど
うするのか。

平成33年の完
成を目指してい
る。

工事は農繁期を除
き、11月末から3月
末を予定している。



県営大池原・東原地区
排水工事真っ最中



障がい者雇用率

達成は

新居 禎三 議員

村長 体制をしっかりと準備して

Q 山形村は、国の定める障がい者雇用率が達成されていない。今後どのようにして達成するか。

A 山形村は平成27年以降、国の定める障がい者雇用率が未達成の状態である。この制度の趣旨を考えれば、不足人員だけを解消すればよいというものではないが、当面1名の雇用を目指している。

Q 障がい者が生きがいを感じ、ずっと働き続けられるような職場環境をどのように整備するか。

A 過去の障がい者雇用の対処は、一般事務職で業務内容、勤務条件も他の職員と同等なものであった。

今後は、障がい者に応じた配慮をし、業務内容、服務規定等の体制を準備して、働きやすい環境を整えることが必要だと認識している。

その他、「会計年度任用職員制度、地域コミュニケーション」について質問した。

ヘルプマークを知っていますか?
ヘルプマークは外見からは分からなくても援助が必要な方のためのマークです。
外見からは分からなくても援助が必要な人がいます
助け合いのマーク



国保税に子ども「均等割」の軽減導入を

大池 俊子 議員

村長 子どもを持ってない世帯の理解への配慮が必要

Q 国民健康保険は最低のセーフティーネットの役割を果たす。国保加入者の内、無職と非正規雇用などの被用者が8割近くを占めている。さらに、加入者の貧困化、高齢化、傷病の重症化が進み、国保税の高騰が止まらない中で、村の国保税の延滞状況は、その内子ども

のいる家庭は。 山形小学校



山形小学校



高齢者・障がい者のサービスを問う

小出 敏裕 議員

村長 新たな施策に、見守りネットワークの経費計上

Q 新しく検討した認知症対策の施策はどのようなものか。

A 新たに検討した施策は、徘徊認知症高齢者の位置情報提供サービス機器の購入及び利用費用の一部助成、認知症高齢者の見守りネットワークの経費計上とした。

Q 若年性認知症の施策の「本人ミーティング」は村としての取り組みはどうするか。

A 今年度の国保税延滞は約3千300万円であり、納付状況は930万円が納入済み。未納者は87世帯あり、この中で18歳未満の子どもの居る家庭は4世帯である。

Q 国保税における子どもの「均等割」の独自軽減や多子世帯の減免など導入する動きも各地で起きているが、この軽減策の導入の考えはあるか。

A 希望しても子どもを持ってない世帯もあり、理解を得る配慮が必要だ。子育て支援は重要施策であり、多方面から取り組みたい。

その他、「すべての虐待緊急点検を受けて」について質問した。

A 「本人ミーティング」は、認知症疾患の方が集い、自らの体験や希望など話し合う有意義な場と考える。村単独の開催予定はないが、今後も研究していきたい。

Q 会計検査院から厚生労働大臣に改善要 求として出された介護 慰労金支給事業の今後の方 向は。

A 国庫、県費とも除外、 村は単独事業として存 続させる。

その他、「自然災害に対 する村の取り組みは」につ いて質問した。



介護の拠点いちいの里



災害時 乳幼児の一時避難施設の確保を

百瀬 章議員

村長 災害時、乳幼児の避難施設は「いちいの里」を指定している

Q 災害時、乳幼児の一時避難施設として、授乳やおむつ替えが気兼ねなくできるように山形保育園等を指定してはどうか。

A 現在、災害時は福祉避難施設として、保健福祉センターいちいの里並びにデイサービスセンターいちいの里、いちいの里すばるを指定してある。新たに指定はしない。

Q 罹災証明書のスムーズな発行は可能か。

A 職員の育成は十分ではないので、研修に参加させるなどスキルを向上し発行業務の習熟を図っていく。

その他、「災害時における民間団体との協定の締結促進、他市町村との相互応援協定等」について質問した。



災害訓練・避難所設置研修会



平成30年度文部科学大臣

社会教育功労者表彰者

逢澤 佳丸 さん

「新伝承館」への私見

3月8日付、市民タイムス一面で「山形の伝承館新年度閉館」の記事、近隣住民が様に驚きと不安の声を上げていました。

現建物は旧役場庁舎で昭和28年建築から既に65年が経過していて、老朽化による危険性が高いことは認識しているが、では次はどこ

新年度が始まった

物申す

山形村の地域コミュニティ

に関する検討委員長

上條 光明 さん

地域コミュニティの再構築を

平成29年10月に検討委員会が設置された。背景は、山形村も近年都市化が進み、住民の生活スタイルがますます多様化してきている。維持してきた地域コミュニティも、時代に合った新しい地域づくりにより転換期を迎えた。

へ、いつ建てるのか、資金は、収蔵品はどうするのか等々でした。

山形村はかつて有能な幾多の先輩方の努力で、歴史を大切にしている村民性と、よりよい村づくりの一環としてこのふるさと伝承館を誕生させたことと思います。

従って、現在の場所は村有地なので、建築費用の面や、地理的に活用の利便性の面からも、現在地に新築することが最適と思います。収蔵品の多くは村民から提供された貴重な品々であります。

災害等で失われることのないよう一刻も早い建設を期待するものです。

現状の問題点、課題を検証。「役が多く負担が大きい」「未加入問題」ほかを検証。

その中から「防犯灯の村管理」「役の見直し」「連絡班の統合、再編」の3項目を村へ提案。防犯灯は村へ移管、役の見直しは進行中（実績あり）連絡班の件は難航している。

委員会は新年度も継続する。全ての組織を見直しできないか。山形村は目的を共有する個々の団体活動は盛ん、このパワーを生かせないか。村づくり基本条例の必要性は。自主防災組織との関係はどうする。などなど：

これからも村民の意見を参考に、今の時代に合った地域コミュニティを検討したい。

私の一言



種田 亮太
(上竹田)

山形村に住んで十五年

『もともと山形村の人かと思っ
た。』最近出会う方によく言われま
す。

出身は松本で、父は高知、母は飯
山の出身なので、全く縁がない山形
村で、そう言っていただけることは
非常に幸せなことです。

様々な役をやってきました。そこ
で出会った方々は、今でも顔を合わ
せると挨拶をしてくれます。

また、いろいろな価値観も感じるこ
とができ、自分を成長させてくれま
す。

近年、常会に入らない家庭が増え
ています。時代の流れには逆らえま
せんが、古い人も新しい人もみんな
仲良しな山形村であってほしいと思
います。



土屋 里美
(下竹田)

美しい村を

いつまでも



清水高原から望む山形村

私は、四季折々の表情を見せてく
れる山形村が大好きです。

普段何気なく目に見える美しく
整った畑の風景も、農家の方々が土
地を愛し、手入れをしてくれている
おかげです。

後継者がいない遊休農地が増えて
いくことは寂しいことです。

山形村の魅力を全国に発信し、新
規就農者を増やし村に住んでもらっ
てはどうでしょうか。

既に山形村の農業を支えてくれて
いる農家の皆さんにも希望が持てる
柔軟な施策により、山形村の農業が
発展し、いつまでも美しい山形村で
あり続けることを願っています。

旬の味

このところ、年頭の賀状に
は『平穏無事で、心安らぐ年
になりますように』と、つい
つい毎年書き添えてしまっ
ている…。

『近年の異常気象と環境破
壊や環境汚染の因果関係』：
『原発から自然エネルギー
への転換見通し』：

『平和国家日本』の歴史は
今後揺らぐことはないか』：
心配は尽きないが、みんな
取り越し苦労であつて欲しい。

時代の節目を迎えるが、皆
で支え合う共生社会の意識高
揚のためにも、村民と行政の
連携を深める必要性を感じる。
一人一人の力は懸命に頑張っ
ても、単独では限界がありそ
うです。

大月 民夫



編集後記

● 議会だより127号の
訂正とお詫び

4ページ上段末尾より4行目

誤 養育手帳

正 療育手帳

7ページ上段5行目

誤 「白馬の軌跡」

正 「白馬の奇跡」

7ページ上段末尾より8行目

誤 この工場は、山形村の

正 この工場に委託し、山形村の

以上3点の誤りがありました。
訂正してお詫びいたします。

発行責任者

議長 三澤 一男

議会広報編集特別委員会

委員長 百瀬 昇一

副委員長 小出 敏裕

委員 大池 俊子

〃 竹野入恒夫

〃 百瀬 章

〃 三澤 一男